

【提出対象者】

- ①奨学金申込時点での収入状況を証明する書類の提出が不可能な方。⇒下記1、2両方記入してください。
- ②所得証明書の収入金額及び所得金額が0円ではなくかつ現在無収入の方。⇒下記1、2両方記入してください。
- ③家計支持者2名とも無職で、非課税証明書を提出している方。⇒下記2のみ記入してください。

収入に関する事情書

記入日： 年 月 日

所属・学年	学部	年	学籍番号	
本人氏名 (自署)	Ⓜ			
家計支持者1人目 氏名(自署)	Ⓜ	続柄		
家計支持者2人目 氏名(自署)	Ⓜ	続柄		

※家計支持者(無収入含む)が2人いる場合は、2人の署名と押印が必要です。

<p>1. 無収入の証明書が提出できない場合 《提出対象者①、②》</p> <p>(1)家計支持者のうち、どなたについて提出できないのか。→ 氏名： (続柄：)</p> <p>(2)提出できない事情 ※該当するものにチェックし、記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 昨年途中から申請時まで最近退職し、就職(転職)先が決まっていない。(退職月：平成 年 月)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (具体的に記入してください。)</p>
<p>2. 生活費の出所について 《提出対象者①～③》 ※該当するものにチェックし、記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 家計支持者__人目(氏名：)の収入で生活している。</p> <p><input type="checkbox"/> 他者から金銭援助を受けている。 → 援助者氏名 (続柄：) 援助金額 円(年間)</p> <p><input type="checkbox"/> 預貯金を切り崩している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(具体的に記入してください。)</p>

【個人情報の取扱いについて】

この書類から得られる個人情報は、奨学金申請にかかる目的以外には利用しません。

名古屋大学 学生支援課(日本学生支援機構奨学金担当)

連絡先:052-789-2175

(平成28年4月)

(以下、学校記入欄)

上記について確認しました。

面談日 年 月 日
担当部署名
面談者名

学校名	名古屋大学	
学校番号		区分
105007		01

年収見込証明書

事業主各位

この証明書は、名古屋大学の在学生在が日本学生支援機構の奨学金を申請するために、申請者
家族の給与状況について証明するものとなります。

平成27年1月2日以降に就職、転職した方が対象となり、就職月から1年間の支払見込総額(賞与を
含む見込額)をご記入ください。

受給者氏名 (生年月日)	(昭和 年 月 日生)
雇用形態	※該当する形態にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 常勤(正社員) <input type="checkbox"/> 非常勤(契約社員、パートタイム、アルバイト)
採用年月日	平成 年 月 日
年収見込額	万円
賞与(ボーナス)の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

※年収見込額は、交通費等非課税所得を差し引いてください。

金額は1万円未満を切り捨てしてご記入ください。

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

事業者住所又は所在地

事業者氏名又は名称

印

【個人情報の取扱いについて】

この書類から得られる個人情報は、奨学金申請にかかる目的以外には利用しません。

名古屋大学 学生支援課(日本学生支援機構奨学金担当)

連絡先: 052-789-2175

(平成28年4月)

事業所得に関する申立書

この証明書は、名古屋大学の在学生在が日本学生支援機構の奨学金を申請するために、申請者
家族の給与状況について証明するものとなります。

記入日： 年 月 日

所属・学年	学部	年	学籍番号	
本人氏名 (自署)	⑩			

氏名(自署) (生年月日)	(昭和 年 月 日生)
事業内容	
事業開始予定年月日	平成 年 月 日
収入(売上)見込額 (年間)	万円
必要経費見込額 (年間)	万円
所得見込額 (年間)	万円

上記のとおり収入が見込まれることを申し立てます。

平成 年 月 日

事業者住所又は所在地 _____

事業者氏名又は名称 _____ ⑩

【個人情報の取扱いについて】

この書類から得られる個人情報は、奨学金申請にかかる目的以外には利用しません。

名古屋大学 学生支援課(日本学生支援機構奨学金担当)

連絡先: 052-789-2175

長期療養に関する申立書

平成 年 月 日

学 部 学部

学籍番号

氏 名

日本学生支援機構奨学金の申請にあたり、長期療養に関し下記のとおり申し立てます。

記

長期療養者氏名 申請者との続柄()

病名

療養開始年月 平成 年 月

※療養費(月ごとに領収書等の自己負担額を記入してください。)

	診察又は治療代	医薬品代	入院費用	その他 ()	医療費合計
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
合計	円	円	円	円	円

【添付書類】直近6ヶ月分の医療費の領収書のコピー

(長期療養が見込まれるが、療養開始から6ヶ月未満は申込み時点の分まで)

【注意事項】①健康保険等によって医療給付を受ける金額及び損害賠償等によって補てんされる金額を除いてください。

②光熱費、差額ベッド代、食費や老人ホームの入所費、食事療養費、保険適用外の文書料、病衣等は、控除の対象となりません。

③紛失等により添付書類を提出できない場合は、控除対象外となります。

④領収書は、療養者の名前が記されているものに限りません。

【個人情報の取扱いについて】

この書類から得られる個人情報は、奨学金申請にかかる目的以外には利用しません。

名古屋大学 学生支援課(日本学生支援機構奨学金担当)

連絡先:052-789-2175

(平成28年4月)

家計支持者別居に伴う支出申立書

平成 年 月 日

学 部 学部

学籍番号

氏 名

日本学生支援機構奨学金の申請にあたり、家計支持者別居に関し下記のとおり申し立てます。

記

家計支持者氏名 申請者との続柄()

単身赴任等別居先住所

単身赴任等別居開始年月 平成 年 月

※単身赴任等別居に関する経費(月ごとに領収書等の金額を記入してください。)

	住居費	電気料	ガス料	水道料	その他 ()
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
月	円	円	円	円	円
小計	① 円	② 円	③ 円	④ 円	⑤ 円
合計	①~⑤の合計額 円				

【添付書類】直近6ヶ月分の領収書等のコピー(単身赴任等別居期間が6ヶ月未満は該当する月分)

【注意事項】①会社からの手当等により自己負担が発生しない場合は、控除対象外となります。

②別居している家族への扶養送金、通信費、交通費等は、控除対象外となります。

③紛失等により添付書類を提出できない場合は、控除対象外となります。

④領収書等は、単身赴任者の名前が記されているものに限りませす。

【個人情報の取扱いについて】

この書類から得られる個人情報は、奨学金申請にかかる目的以外には利用しません。

名古屋大学 学生支援課(日本学生支援機構奨学金担当)

連絡先:052-789-2175

(平成28年4月)

母子・父子世帯申立書

以下のとおり、申し立てます。

記入日： 年 月 日

所属・学年	学部	年	学籍番号	
本人氏名 (自署)	Ⓜ			
家計支持者氏名 (自署)	Ⓜ		続柄	

項目	該当するものに○ を付けてください。	”有”に○を付けた場合、記入してください。
児童扶養手当 受給の有無	有・無	受給額 _____ 円 X 年 _____ 回 = 年額 _____ 円 ※「児童扶養手当認定通知書」等のコピーを提出してください。
【死別の場合】 遺族年金受給 の有無	有・無	受給額 _____ 円 X 年 _____ 回 = 年額 _____ 円 ※「年金振込通知書」等のコピーを提出してください。
【離別の場合】 養育費 の有無	有・無	養育費支払者氏名 _____ 月額 _____ 円 年額 _____ 円
祖父母、親戚等 からの援助の 有無	有・無	援助者氏名 _____ 続柄 _____ 月額 _____ 円 年額 _____ 円
祖父母の同居 の有無	有・無	同居者氏名 _____ 続柄 _____ (生年月日：昭和 年 月 日) 同居者氏名 _____ 続柄 _____ (生年月日：昭和 年 月 日) ※収入に関する証明書のコピーを提出してください。収入が年金のみ の場合も、年金の源泉徴収票または年金振込通知書・年金額改定 通知書等を提出してください。

【個人情報の取扱いについて】

この書類から得られる個人情報は、奨学金申請にかかる目的以外には利用しません。

名古屋大学 学生支援課(日本学生支援機構奨学金担当)

連絡先: 052-789-2175

(平成28年4月)

(以下、学校記入欄)

上記について確認しました。

面談日 年 月 日

担当部署名

面談者名

学校名 名古屋大学

学校番号	区分
105007	01

第一種奨学金再貸与に係る申請書

平成 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構 理事長 殿

私は、同じ区分（大学（学部）・短期大学・大学院修士課程及び専門職大学院の課程・大学院博士課程・高等専門学校・専修学校専門課程）の学校で第一種奨学金の貸与を受けたことがあります。日本学生支援機構の業務方法書第14条第5項ただし書き（以下、「本規定」という。）の適用により、現在の在学学校または入学予定校における修業年限の終期を貸与終期として第一種奨学金再貸与を申し込みます。

申込みに際しては、以下の留意事項を了承し、日本学生支援機構奨学規程、その他諸規程に定める取扱いに同意します。

【留意事項】

- 以前貸与を受けていた奨学金（後記3. 以外のものを含む）について、次の状態にある方は申し込みできません。
- ・延滞中（代位弁済実行となった場合を含む）
 - ・返還誓約書（借用証書）未提出
- 採用後にこの状態であることが判明した場合や後記3.に係る申告に漏れがあった場合は採用を取り消し、振込済みの奨学金については全額返金していただきます。また、これらの連絡は、学校を通して行われます。
- 本規定の適用（再貸与）は、1回（一契約）限りです。ただし、再貸与の貸与期間が何らかの事情で短縮したことにより、同一区分の学校における貸与期間を通算すると在学学校または入学予定校の修業年限を超えなかった場合は、再度、本規定の適用を受けられることがあります。なお、この場合、改めて本規定の適用があることの通知は行いません。本規定の適用の可否が分からない場合は、申込みを行う学校までお問い合わせください。
- 奨学金は貸与です。申込みにあたっては、奨学金の貸与を受ける必要性、返還時の負担等を十分考慮し、学資として必要となる適切な貸与月額を選択してください。

1. 申込者氏名・生年月日

フリガナ		生年月日
氏名	(印)	昭和 平成 年 月 日生

2. 現在の在学学校または入学予定校の情報

学校名	学校の種類（「○」を付ける）	
	大学（学部）・短期大学 大学院修士課程及び専門職大学院の課程・大学院博士課程 高等専門学校・専修学校専門課程	
学籍番号	入学年月	卒業予定年月
	平成 年 月	平成 年 月

3. 過去に貸与を受けた第一種奨学金の情報

奨学生番号	貸与を受けていた時の学校名	
学校の種類（「○」を付ける）	貸与期間（※）	貸与月数合計（※）
大学（学部）・短期大学 大学院修士課程及び専門職大学院の課程・大学院博士課程 高等専門学校・専修学校専門課程	年 月分 ～ 年 月分 年 月分 ～ 年 月分	月

※貸与期間・貸与月数合計について不明の場合は、記入不要です。

以下 学校記入欄

学校名	電話番号（担当者名）	学校番号	区分
	()		
	- -		

(16.4)

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務（返還業務を含む）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。

また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。